

令和8年度 年間指導計画 社会科 3学年

	単元	単元	評価規準		単元	時数	規準
4月	(歴史的分野) 第5章 日本の近代化と国際社会 1節 近代世界の確立とアジア 2節 開国と幕府政治の終わり	16	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解している。(知識・技能) ・社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 	10月	(歴史的分野) 3節 冷戦の終結とこれからの日本 (公民的分野) 3節 これからの人権保障	31	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。(思考・判断・表現) ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代の日本社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返って粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	5月				(公民的分野) 第1章 現代社会と私たちの生活 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化		
6月	(歴史的分野) 3節 明治維新と立憲国家への歩み 4節 激動する東アジアと日清戦争 5節 近代の産業と文化の発展	10	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。現代社会における文化の意義や影響について理解している。現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守るなどの意義及び個人の責任について理解している。(知識・技能) ・空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係などに与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。現代社会に見られる課題の解決に向けて、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 	11月	3節 地方自治と私たち	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。(知識・技能)
	(公民的分野) 3節 現代社会の見方や考え方				第4章 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働		
7月	第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と民族独立の動き	13	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、アジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などをもとに、戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。(知識・技能) ・経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連に着目して、歴史的事象を相互に関連付けて、第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・第二次世界大戦と日本について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 	1月	3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	27	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察、構想したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。(思考・判断・表現) ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	(歴史的分野) 2節 大正デモクラシー 3節 恐慌から戦争へ 4節 第二次世界大戦と日本の敗戦				第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本		
9月	(公民的分野) 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会	16	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が重要であることを理解している。日本国憲法が国民主権、基本的人権の尊重および平和主義を基本的原則としていることについて理解している。日本国および日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。(知識・技能) 	2月	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	5	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、国の領域、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために国際的に経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。(知識・技能) ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義をもとに、我が国の安全保障、国際貢献を含む国際社会における我が国が果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。(思考・判断・表現) ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組むこと、主体的に社会に関わろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	(歴史的分野) 第7章 現代の日本と世界 1節 日本の民主化と冷戦 2節 世界の多極化と日本				第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本		
10月	(公民的分野) 3節 これからの人権保障	23	<ul style="list-style-type: none"> ・諸改革と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化する世界について現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 	3月	終章 より良い社会を目指して	5	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組むこと、主体的に社会に関わろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)